

“MaCO 人”への道 ～ MaCO の人財育成制度～

株式会社 MaCO には「MaCO 人」という言葉があります。これは、人を喜ばせたり、笑わせたりするのが生き甲斐で、いつもワクワクしている元気な人のこと。そんな「MaCO 人」を養成する「人財育成制度」の一部をご紹介します。

【1】挨拶と掃除を大切に

まず「朝礼と掃除」です。毎朝 8:20 になると、首から真っ赤なタオルをかけたパートナーが、声高らかに「元気ですかあああ！」と叫び、残りのパートナーも負けじと「元気です！」と応える。この一風変わった風景は、弊社の名物「イ〇キ朝礼」です。弊社の人の理念は「元気な人」。

「最近、元気足りてないじゃない？」「元気があれば何でもできるよ！」そんな何気ない会話から生まれたアツい朝礼。掛け声の後、社員全員が肌身離さず身に付けている「クレドカード」の唱和です。経営理念、事業方針、人の理念などを大きな声で唱和し、最後は全員で「1・2・3 ダアー！」で締めます。

この「クレドカード」の唱和。最初はただ機械的に読んでいても、毎日繰り返せば体に染み込みます。パートナー一人ひとりが会社が大切にしていることを理解し、それを基準に様々なことを考えられるようになります。また、朝一番に腹から大きな声を出すことで、そこから色々な場面、特に挨拶をする際に大きな声が出せるようになります。

朝礼が終わると掃除の時間です。業務終了時の清掃に加えて、毎朝一つの場所を決め 20 分間徹底的に掃除をします。みんな当たり前のように換気扇を磨き、椅子の足の裏やベッドの下を拭き、小便器の中や消火器まで磨き上げます。お客様を迎えるにあたり、建物の清潔を保つのはもちろんですが、この掃除が自身の成長に一役かってくれるのです。汚れに顔を近づけることにより謙虚さが生まれ、徹底して掃除をすることでお客様の体の小さな傷や変化にも気づく介護職員として必要な能力の育成になり、さらに事業所がピカピカになる。まさに一石二鳥です。この朝礼と掃除が一番の人材育成といっても過言ではありません。

【2】良き先輩制度

新卒者に対する MaCO 版メンター制度のようなものです。昨年度の新卒採用スタートに合わせて生まれました。「良き先輩制度」では、入社時に半年後の目標を用紙に書き出し、毎日先輩と後輩が面談し、振り返りを行います。先輩はこの振り返りの中で、後輩がゲットした「小さな成功」や「ありがとう」を見逃さず、見つけてあげます。後輩は小さな成功を積み重ねていき、心が成長していきます。先輩もまた、「小さな成功の発見」という上司として必要なスキルを身に付けていくのです。

その他にも、月に2回の先輩ミーティングを行い、担当の先輩だけでは見えない「イイところ探し」や、



恒例の「イ〇キ朝礼」

良き先輩制度の一環「新卒はっちゃけ祭」。お客様を喜ばせることの難しさ、喜んでいただくうれしさ、体の底から元気を絞り出す（殻を破る）ことを学ぶ



期間限定のキャンペーン、イベントなどを企画します。ちなみに先述の「イ〇キ朝礼」も、この先輩ミーティングから生まれました。

最近では「イイことみつけたキャンペーン」を行いました。一緒に働くパートナーやお客様へ「ありがとう」を贈る、弊社の人財育成ツールの「ありがとうカード」を用いるものです。ちょっとした「イイこと」を見逃さず、すかさず「ありがとう」を贈ることで、パートナー（特に新卒者）に小さな成功体験を積み重ねてもらい、力をつけてもらいながら、管理職は部下のイイところ探しの練習をします。小さな成功を見逃して「当り前」にしてしまうと、やる気も育たないものです。お互いがイイところを探していけば、一緒に働く仲間の印象も良くなり、職場の雰囲気も間違いなく良くなります。

人を喜ばせたい！

事業方針は「介護は人が人を喜ばせる仕事」です。学校や教科書でどれだけ知識をつけ、実技講習で技術を学んでも、人を喜ばせたい気持ちがないと何の意味もありません。介護は世話する仕事でも作業でもないからです。「この人を喜ばせたい！」という気持ちが芽生えた時、人は人に興味を持ちます。興味を持つといろいろなことが気になります。例えば認知症がある方なら、昔はどんなお父さん（お母さん）だったのだろう。趣味は？ お仕事は？ どんな時に笑う？ どういった点に気をつけていけばいい？

等々の疑問が湧き、自ら学び教わっていった時に、「知識」や「技術」は身につくのだと思います。人は、気持ちが動かないと体は動きません。「知っている」だけでは動けません。「理解した」だけでも動けません。気持ちが動く、つまり心に「感じた」時に人は動くから、「感動」という言葉があるのではないのでしょうか。

「人を喜ばせたい」という気持ちには様々な効果・効能があります。この気持ちは、自然にやりがいを生みます。大切なのは、自身の目の前の仕事にやりがいを見出すことです。「給料のためだけに働く」「退社時間が待ちどろしい」そんな状態になってしまうと仕事は苦にしかありません。しんどくて、大変で、辛いこともあるけれど、面白くて楽しいのが本当の仕事だと思います。「人を喜ばせた」「ありがとうの言葉をもらった」という小さな成功の積み重ねに喜び、やりがいが見いだせたら、この仕事は「やりがいのある仕事」に変わります。そして、自分自身が幸せになります。「人を喜ばせる」という言葉は、ともすれば偏善的イメージが付きやすいですが、実は自分のためでもあるのです。周りに人がいて、その人たちが笑っているからこそ、自身も幸せになれるのではないのでしょうか。「人を喜ばせる」ということは、自分自身の幸せへの一番の近道なのです。

他にも「麻姑塾」（代表の中川が直接講義を行う MaCO の理念塾）や「ひとづく」（パートナーが持ち回りで講師をつとめる勉強会）など MaCO は人財育成にとても力を注いでいます。

一番大切なのは「人を喜ばせたい」という気持ち。MaCO は「岡山一モテる介護会社」を目指し、これからも人財の育成に力を入れていきます。

執筆：デイサービス事業統括コーディネーター 高橋善弘



3か月前から実施している「イイことみつけたキャンペーン」で集めたありがとうカード

【株式会社 MaCO】
岡山県瀬戸内市邑久町箕輪 656-1
代表取締役社長：中川浩彰
デイサービス事業統括コーディネーター：高橋善弘
麻姑の離宮西大寺 施設長：島田卓也
小規模多機能ホーム うぐいす庵リーダー：武内えり子
TEL：0869-22-5321
FAX：0869-22-5322
URL：http://www.maco.co.jp/
事業内容：詳細はホームページをご覧ください